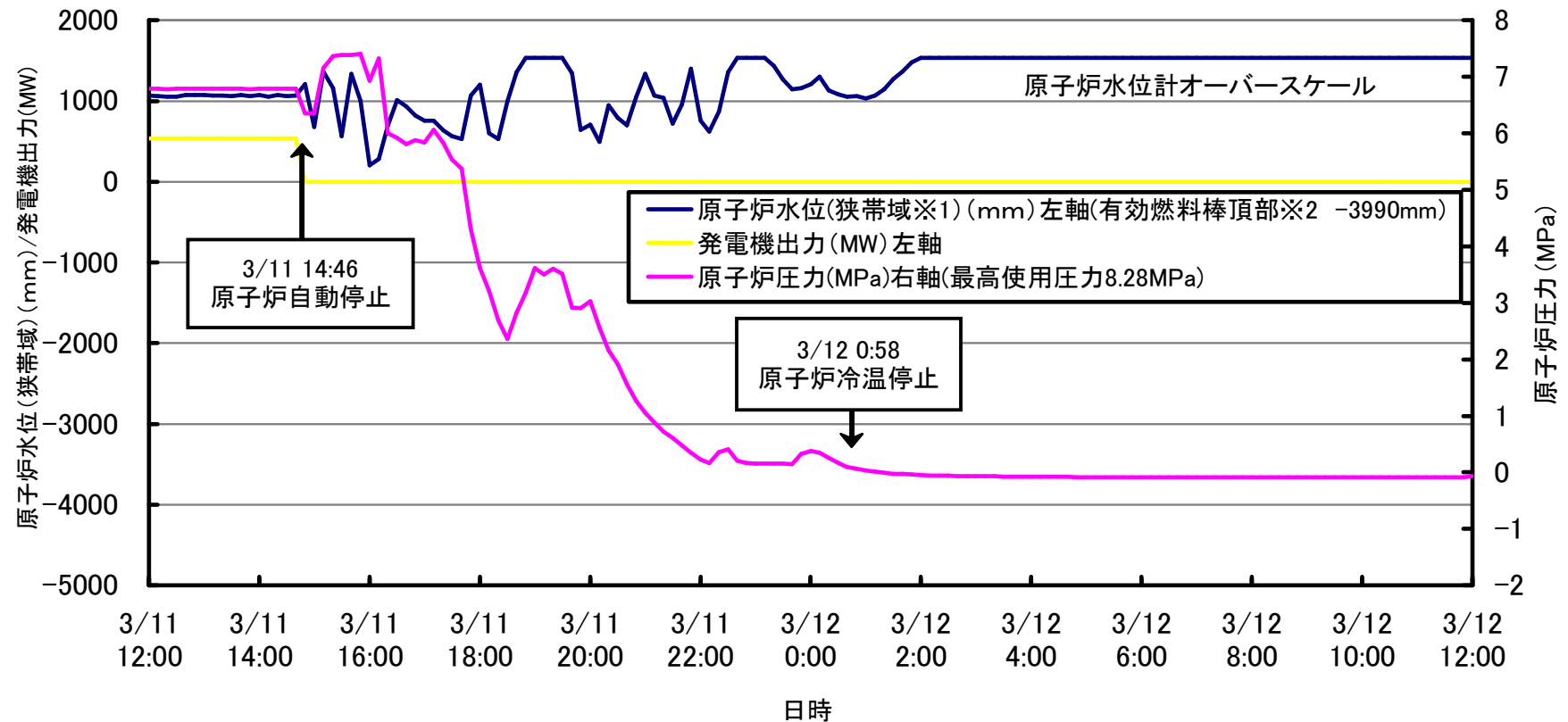


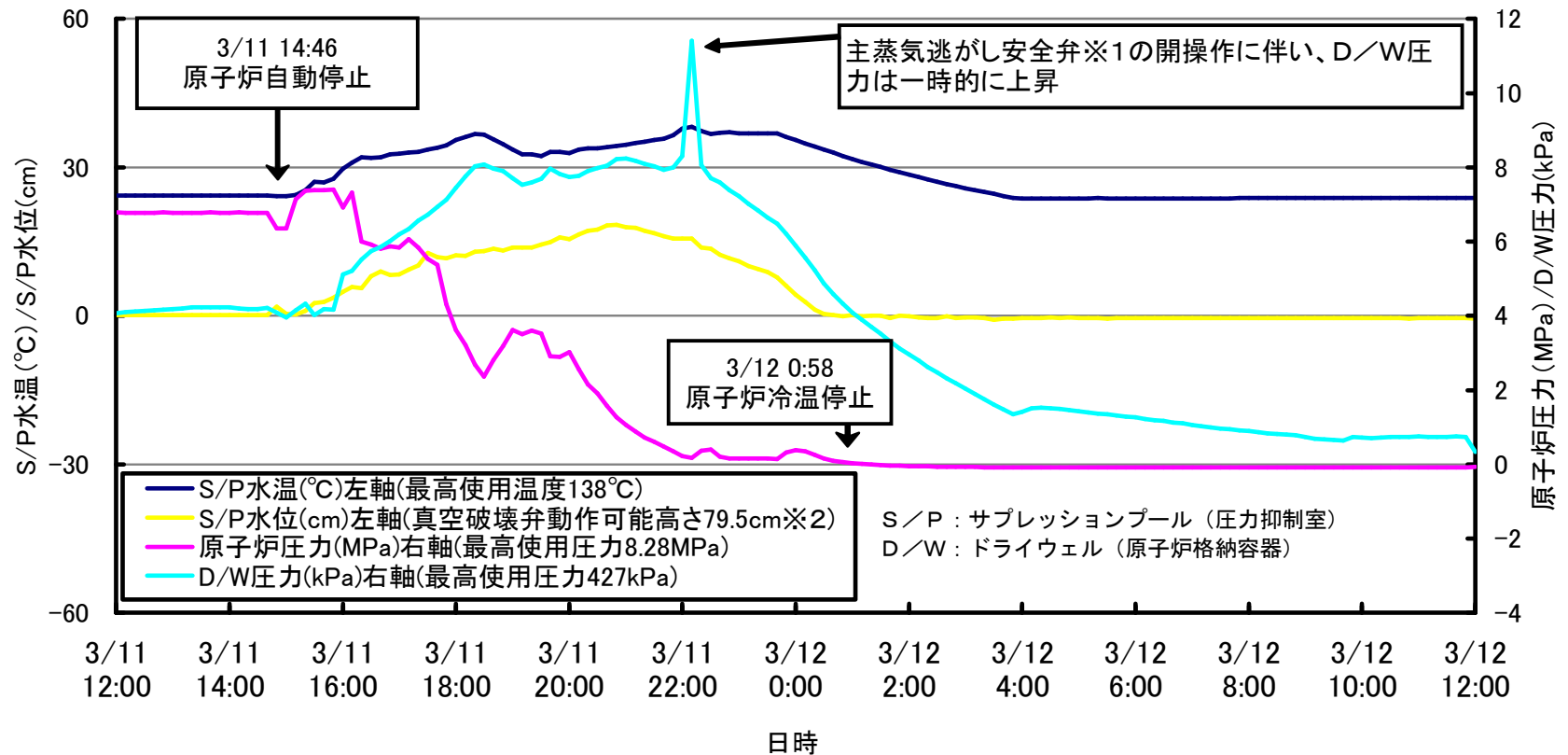
女川1号機 地震発生前後のプラントパラメータ



※1：狭帯域とは、通常運転中の原子炉水位を測定するための水位計（測定範囲：0 mm～1 5 0 0 mm）である。

※2：有効燃料棒頂部とは、燃料棒の上端部を示し、狭帯域水位計0 mmから－3 9 9 0 mmに位置している。

女川1号機 地震発生前後のプラントパラメータ



※1 : 主蒸気逃がし安全弁は、原子炉圧力の異常上昇を押さえ、原子炉圧力容器および関連機器の破損を防ぐ。

※2 : 真空破壊弁動作可能高さとは、原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器スプレイ系を作動させた時、原子炉格納容器が負圧になることを防止するために開放される弁が作動可能な高さのこと。

なお、サプレッションプール水位は、通常水位±0 cmからの水位を示す。

女川1号機 地震発生前後のプラントパラメータ

